

『おたっしゃ会』(敬老会)



神城醫院・白馬メディア(老健)・かたくりの郷(グループホーム)

今年で8回目となる『おたっしゃ会』(敬老会)を9月13日(日)に開催しました。

白馬メディア1階会場には、かたくりの郷、2階会場は、神城醫院とすみれ棟、3階会場は、こまくさ棟とつくし棟のそれぞれで、敬老の式典をおこないました。白馬、小谷両村で1名ずつ100歳表彰があり、白馬村長、小谷副村長より直接表彰状や記念品が贈呈されました。その後、日常の様子を記録した写真のスライドショーなどを鑑賞し、利用者の名前を誌に織り込んだ色紙を担当職員より利用者全員に記念品としてプレゼントしました。

式典終了後は、ご家族と共に昼食をいただき楽しいひとときを過ごしました。



式典の様子



敬老お祝い膳



『安曇野メディア祭り』

介護老人保健施設 安曇野メディア

9月27日(日)に「安曇野メディア祭り」を行いました。

今年は新型インフルエンザの蔓延が危惧され、例年行っている外部参加型のイベントや展示等の計画は中止し、「ご利用者さん」と「ご家族」のみが参加する「お昼のお楽しみバイキング会」を計画しました。

メニューは、お寿司・天ぷら・うどん、蕎麦・焼きそば・おでんなどの日本食からピザ・キッシュ(洋風のお好み焼き?)などの洋食スイーツ類(プリン、アラモード、プチケーキなど)盛りだくさん。

普段は刻み食を召し上がっているご利用者さんが、お皿一杯に盛られたご馳走をペロリと食べられたのには、ご家族も職員達もビックリ!!!

短い時間でしたが、楽しいひと時を過ごされました。



いつも優しく

今号は、各施設で行われた『お祭り』の模様をお届けします。



目次:

- 城西病院 . . . 1
- 豊科病院 . . . 2
- ミサトピア小倉病院 . . . 3
- 神城醫院 白馬メディア . . . 4
- 安曇野メディア . . . 4

城西病院 『秋祭り』

9月26日(土)に城西病院の秋祭りが開催されました。

去年と同様に天気にも恵まれ、青空の下、すがすがしい時間を過ごしました。

わたあめ、フランクフルト、焼きそば、くじ引き、ミニゲームなど参加型の出店を職員有志が取り仕切りしました。多くの患者さんが笑顔で各ブースを見て回ってくると、それだけで、職員も嬉しくなりました。また、病院の職員有志による催し物などが充実していて、尺八演奏、フォークダンス披露、〇×クイズと職員と一緒に楽しんで頂けたのではないのでしょうか。

城西病院秋祭りは、外来患者さんや、入院患者さんとそのご家族の方を対象として、一緒に楽しめる時間を過ごし、季節を感じていただくという目的で開催しております。

少しでもお祭りの騒がしく楽しい雰囲気を感じていただけたらという気持ちで3ヶ月前から「秋祭り実行委員会」を組織し準備をしてきました。今回も大変好評を頂きました。職員一同、楽しんでいただき、これに勝る喜びもありません。

特別医療法人 城西医療財団

〒390-8648

長野県松本市城西1-5-16

TEL 0263-33-6400

FAX 0263-33-9920

いつも優しく

ホームページ

<http://www.shironishi.or.jp>



豊科病院 『秋祭り』



毎年恒例の豊科病院の秋祭りが、10月10日（土）に開催されました。

今年は、新型インフルエンザが流行していることもあり、感染予防対策の一環として、病棟毎で秋祭りを開催することになりました。秋祭り実行委員と作業療法士が協力して何度も企画を練り、職員一丸となって準備をしてきました。

A B病棟は、割り箸鉄砲を使った射的を行い、6種類のケーキの争奪戦を繰り広げました。子供の頃に皆さん経験されているのか、楽しそうに笑みを浮かべながらも、集中して射的をされていました。自ら獲得されたケーキということもあり、皆さん美味しそうに召し上がりました。

C病棟では、職員によるバカボンのパパやメイドに仮装、バルーンアートの余興などが披露されました。また、患者さんが参加された炭坑節の踊りや魚釣りゲームも大好評であり、魚釣り

ゲームでは、釣った魚の大きさや数を患者さん同士が競われ歓声があがっていました。釣った魚は病棟の壁に飾られ、秋祭りが終了した後も余韻を楽しめる趣向を凝らした企画でした。

D病棟では、本格的な衣装や化粧を施した仮装大会が開催されました。患者さん、職員、それぞれ普段とは違う姿に大変身し、ザ・ピーナッツ、桃太郎一行、浦島太郎一行、水戸黄門一行、銭形平次、遠山の金さん…など、多彩な人物になりきって演劇が披露され、会場の観客からは、笑い声や声援が飛び交っていました。

そして秋祭りのフィナーレに、各病棟共通企画として、患者さんがお神輿を担いでお祭り会場を練り歩きました。

秋祭りは短時間でしたが、どの病棟も賑やかな雰囲気に入れられ、普段の病棟ではみられない患者さんの笑顔が見られました。

今後も今回のような、職員と作業療法士がコラボレーションした魅力ある行事を企画していきたいと思えます。



ミサトピア小倉病院 『夏祭り』

7月18日（土）午後、ミサトピア小倉病院の駐車場において、毎年恒例の夏祭りが開催されました。

作業療法部を中心に、各部署から選出されたレクリエーション係委員が、何度も打ち合わせを繰り返し、準備をしてきました。

今年は、平年並みに梅雨明けが宣言されましたが、その後晴れる日は少なく、夏祭り当日の天候も心配されました。しかし、皆さんの気持ちに通じたのか、好天に恵まれ、午前中からレク係委員と手の空いた職員総出で準備を進める事が出来ました。

午後1時30分に、薄井院長による開会の言葉で、祭りが始まり、参加者全員で盆踊りを行い、その後一斉に屋台が開始となりました。

毎年お馴染みの焼きそば、カキ氷、ヨーヨー釣り、くじ引き、ジュース、そして今年は、新たにざるそば・うどん、ちらし寿司、クレープ、お好み焼きが加わって、全部で9屋台となり、ど



この屋台も長蛇の列で大盛況でした。また、同時進行のカラオケ大会では、自慢の歌声が、響いていました。

今回は、車椅子の方たちにも、ゆっくり食べて頂ける様にとという事で、机を用意したところ、「落ち着けて良かった」等、とても好評でした。

屋台は、人気のあったものから次々と品切れ終了。カラオケも20数名の方々が熱唱され終わりました。

今回は、事故もなく、無事に進行でき、参加者からは「楽しかった」「美味しかった」「沢山食べれて良かった」「屋台数が多くて良かった」等、喜びの声が聞かれました。

この声は、また来年もより良い夏祭り開催に向けての何よりの原動力になると思います。

